

※他機関の具体的な名称の記載は、一般的な機関名に差し換えました。

質問1. サポステを利用し始めたきっかけは？
高校の相談。
他機関の就職準備講座※がきっかけで予約して利用し始めた。
母の友人がサポステ関係者との繋がりがあり、その人からサポステの存在を知り、紹介してもらったこと。
最初、就労移行支援事業所※に就労支援を申し込もうと思いましたが、障がい者手帳も現在 通院履歴もなかったので諦めかけた時に、相談員の方に よこはま若者サポートステーションなら障がい者手帳等も必要無く相談できる事を教えていただいたのがきっかけです。
自分に自信が持てず、働く意欲が湧いてこなかったため、どこか相談する場が欲しいと思ったからです。
対人不安が強く大学卒業後も就職できずにいた所、ハローワークから紹介された。
様々な問題があり身動きが取れなくなっていたときに、かろうじて見つけたサポステのホームページがきっかけです。
就労支援機関※の紹介
カウンセリングの先生の勧め
大学卒業後、3年くらい仕事を転々として現在引きこもりになってしまったのでサポステを利用しました。
不登校がきっかけでうまく社会になじめず、行き詰っていたところ、ネットでサポステを知り相談に来ました。
・大学の学生相談室で勧められて
・就活失敗
自分にとって向いている仕事になかなか見つからなかったからです。
仕事について収入を得なければいけないと思い区役所に相談に行ったらこちらを紹介していただきました。
たまたま同ビルの就労支援機関※に行こうとしたら別の階にこのセンターがあったから、のぞいてみようと思ったのがきっかけです。
専門学校在学時に就職活動が上手く出来ず、そのまま卒業したため。
区役所の職員の方からの提案を受けて。
大学卒業後、就職していないまま8年程たち、その状況を変えるために利用を始めました。
何年も仕事もせず、家に引きこもっていたが両親の定年退職によって働かなければならないと思った為、最初はハローワークに行ったが何をすればよいのか分からなくなっていたため職員からサポステを利用してはどうかと話があり利用し始めた。
自分に合う仕事になかなか見つからず、悩んでいた。
アルバイトを辞め、正社員を目指そうと思いましたが、既卒では不利とか、職務経歴書の書き方などもわからず、何をすればいいかもわからなくて、利用しました。
正社員で就職することに対して様々な不安があったので、インターネットで調べて利用し始めた
通所していた相談支援機関※の担当の方に教えてもらった事がきっかけです
前職を精神的な理由で退職してカウンセリングを続けている中で、職場復帰を行うために相談できる場所として紹介されたため
具体的に仕事を探したいと思ったから。
区役所にあった広告を見たのがきっかけ。
仕事探しの準備がしたかった。以前サポステを利用して、役に立ったので、もう一度利用しようと思った(初めての時は就労支援機関※で紹介された)
人生に悩んでいたから。就職支援機関※を先に利用していたが、紹介して下さった方が先にこの施設あるよと言ってくれたため。
学生時代に利用していた学生相談室のカウンセラーの方に紹介してもらい実際に通い始めた。
大学の就職サポートとして紹介された。
相談支援機関※から勧められたから。
就職がうまくいかず、就活するためにすべきことを学ぶため。
通っているメンタルクリニックで教えてもらいました
無職で変わらない毎日から踏み出す第一歩として
働かずに家にずっといたら、お婆さんがこういうのがあると教えてくれて、しばらくたってからお母さんが電話で申し込んでくれるならと言ったら、初めは全部やってくれたので行く気になった。
ほとんど引きこもりの状態だったため、見かねた親と一緒に嫌々ながら訪れました。
ずっと働けずいたら日々を過ごしていたところサポステを見つけたので
家族より「人並」を強要されハンディキャップがあるにもかかわらず、自立を強要されたこと。および当時の求職難、また有効な支援窓口が存在しなかったため
このままじゃ自分の人生すらどう動けばよいか分からないと思った時に、病院のソーシャルワーカーさんからの紹介
偶然サポステがあると教えてもらった。
大学卒業が近づいてきたけれども、体調不良で就活がなかなか出来ず困っていた時、いつも相談していた臨床心理士の先生がサポステを教えてくれて繋げてもらいました。

以前より通院していた病院でカウンセリングを受けていて、そこで就職不安について相談をしたときに勧められた形です。
再就職活動を始めると、アドバイスを受ける人が必要だったからです。
以前仕事についていたが、やめてしまい、相談支援機関※の担当の方に相談したら紹介された。
親からの勧めです。
求職活動と私事で精神的に不安定になってしまったので、自分を整理する為に紹介されました。
相談支援機関※の担当の方に勧められ、働きかけを作りたくて利用し始めました。
2012年ごろ、気分障害がある程度回復した際、就労の相談のため。
2017年ごろ、気分障害にあるときに就労の相談のため。
2021年ごろ、気分障害がある程度回復した際、就労の相談のため。
医師からの紹介(心療内科)
仕事していないから
質問2. サポステに来る前、どんなことに悩んでいましたか。
このまま引きこもっていても先がない。どうにか現状を変えたいがどうしたらいいのか分からない。
バイトが決まらない
何年も仕事をしていないため、自分は何の仕事をするべきなのか悩んでいる。
①人に無職であることを話すときに良い印象を持たれることが無く人との関わり合いを自然と避けるようになったこと。
②友人たちは年に数百万円を稼いでいるので、金銭感覚が合わなくなる。食事などで無理をしてチェーン店などを利用させてもらっていたこと。
③社会復帰できるのか。出来たととしても、自分の人生のキャリアデザインをどうすればいいのか分からない。
自分にできる仕事があるのか
障害者枠での就活
将来について悩んでいた。
転職活動がうまくいくかどうか
コミュニケーション能力、自己分析
人間関係、自尊心、仕事をするのがうまくいか
今も変わりませんが、面接や大人、就職に関することが、みんな怖いと感じていました。
何年も働いていない自分に自信がない、踏み出す勇気が出ない
仕事は自分に出来るのかどうか、就職できるかどうか、人間関係など？
長いブランクがあった後に、自分が社会から受け入れられるのかと不安でした。
将来への不安→親の年齢など、お金・コミュニケーション。
途中から外出の不安(人目が気になる)
再就職に向けて相談できそうなところを探してた。
・仕事に就けるのか、また、続けられるのか
・人とのコミュニケーション
働くことへの不安、生きることそのものの意欲がない、自分の好きなことが判らない、やる気が維持できない、などに悩んでいました。
就活をどう進めればよいかわからなくなった。
ブラックでない、法的に問題がなく、生活を成り立たせることのできるまともな勤め口を得たい 老後の不安に怯えず職場に定着し退職金がもらえるまで安定して雇用が継続できること
人とのコミュニケーションが苦手なので、仕事をするうえで不安があった。
他の人と話すのが苦手だけどうまくできるかどうか
人間関係やコミュニケーションの取り方について
自分が持っている「働く事への不安」をじっくり相談する場が無かったこと。
とりあえずバイトをしたいと思っていたがなかなか踏み込めず
自分の意志よりも周囲の意見ばかり聞いていて、自分で決められなくなってしまったことです。
人と接するのが怖い。
仕事について話す人がいない。
大学生の頃から周りと自分の性格や言動が大きく違うことに気づき、またそれによって人間関係、学校生活、今まで好きだった事が壊れました。その後のアメリカ留学もうまくいかず、悩みが解消されないまま日々を過ごしていましたが、家族間で嫌な事が起きたり大切にしていた犬が死んだり悲しい出来事が立て続けに起こりました。そういったことも重なって、もはや悩むということを飛び越えて生きる気力さえなかったという具合でした。
短期の仕事しかした事がなく、長期間の仕事をする事に体力的にも精神的にも不安があった。
生きる事がいつも酷く辛く、度重なる体調不良やストレス過多によって安定して働き続ける事が出来ず、どうしたら安定して働けるのかが分からず悩んでいた。
就職するための方法がわからないということと、就職に関する精神的な不安

仕事が長続きせず、転職を繰り返してきました。そのことに対する自己嫌悪で自信を無くしたり、経済的なこと、将来の漠然とした不安などに悩んでいました。
求人が見つからない合わない、相談を雑に聞く、ハローワーク等求職機関との連携が事務的すぎて噛み合わない。
中学から何も学んでこなかったの、面接や履歴書作成への不安
友達関係
いずれは働かなければ、と思う反面、働くことへのいいイメージが湧いてこない。 人間関係、履歴書作成など少し考えただけで気が重くなる。
仕事について将来について
仕事やれるか
中2の夏休み明けから不登校で高校は通信校だったため、将来どんな仕事をしようかという考えが浮かばなかった。
最終学歴が中学なうえ、前職を早期退職しており、社会に出ることに強い不安がありました。
社会や家族から自分は存在しないと扱われていたこと。バカな脳無しだと思われること
何から始めればいいのか、何処に不安(就職への)を吐けばよいのか分からない状況であった。
大雑把に将来のこと、人間関係、自分自信の能力。
仕事の就職がうまくいかないことについて。
今のバイトで満足な収入が得られないこと
将来の不安(社会、人生) アルバイトへの考え方
自分の能力について。(就職したら求められている仕事がちんとこなせるか、そもそも自分にできることはないのではないか。自分に自信が無くて一歩が踏み出せなかった)
すぐさま就職しなければならない、という強迫観念。
コミュニケーションが苦手、自分に自信がない、仕事への自信がない
質問3. 今、あなたが自分の将来のことで感じている希望や不安はどんなことですか。
<ul style="list-style-type: none"> ・まったくどこでも働けないというわけではないかもしれない。 ・働いていたら生活していけるだけの収入を得られるのか？ ・体を使う仕事なので、65才などまで働けないかもしれないので転職を考えていきますが採用されるのか？ ・自分に合う仕事、得意なことなどが良く分からない。
希望:社畜は向いていないことがわかったので、ブラックリストから抹消される6年後以降に起業する!(笑) 不安:①(将来というよりも目下の、ですが)転職したての現職で、体調を崩さず穏やかに働けるかどうか。②末期ガン闘病中の母が亡くなったとき…考えたくないですが。
このまま何もできずただ歳をとってゆく事。底辺のまま人生のどん詰まりにはまってしまうのではないかな?年齢が上がると社会復帰は難しくなることはわかっていても劣悪な労働をしいられるのではないかな?プランクが長く特別な技術がない以上、悪条件の職しか選択肢がのこっていないのではないかな?といった不安があり今一歩踏み出せないこと。
適切なキャリアを積んでいけるのか。以前のような快くない職場の人間関係に出くわし、再び病んで振り出しに戻ってしまうのではないかな。
安定した職に就けるか。
色々な活動を通して社会に出る事が一番で、その活動の中で仕事に参加するための準備を少しずつ行っている。仕事に就けるのか続けられるのかが不安。
正社員の仕事につけるかどうか
自分の強みが出せる仕事分からない。自立できるかの不安。
本当に自分が自分の人生を歩んで行く勇気があるか分からない不安感
就職活動や働くことに対して心が折れてしまったため、もう一度意欲を取り戻せるのか。 このままずっと仕事が見つからないのではないかな、どんどん社会との接点が無くなり孤独になっていくのではないかなと思うと不安。
金銭面もちろんですが、病気(うつ病)のことや、友達・恋人がいない、孤独死してしまわないか怖いです。昨今、追い詰められた中年男性が殺人事件を起こす例が多いですが、加害者が抱える圧倒的な孤独や、そういう事件を起こしてしまうような境遇を考えると、自分も似た境遇なので絶望的な気持ちになります。 健康を害さず(うつ病が治って)、友達や恋人を作れるといいなと思っていますが、とてもハードルが高く感じます。
歳をとるほど転職が難しくなり、辛い仕事でも我慢しなければいけない。ずっと貧乏なままかもしれない。歳をとって働くのが難しくなったら生活費が足りない。孤独死するかもしれない。
バイトが決まったが上手くやれるかどうか
<ul style="list-style-type: none"> ・最低限のコミュニケーションを辛くなくやりたい ・一人で自立し生活できるか不安 ・僕はまだ恵まれている環境にいると思いますが、そんな中でも不満やストレスを感じているので、そんな自分をもう少ししまとめたいです。
この先、安定的に長く続けられる仕事に就けるか、就けたとしてその先で自立できるようになるのかが不安です。社会に必要とされる人になりたいです。

<p>希望:自立に向けて、今より少しでも行動を起こしたり、状況を良く出来ているかもしれない。 不安:5年後、10年後も自分の状況が変えられないままなのではないか。経済的に自活していけるかどうか。</p>
<p>希望:自分にあったやりがいのある仕事に就きたく、また顔なじみの環境で働きたいです。そして自力で内定を取りたいです。 不安:社会に出て仕事をするうえで、集団の中に入り他人と仕事をしなければいけないと思うので緊張しないか不安です。また、友達ができるか、人間関係、いじめは起きないかなど不安だらけです。</p>
<p>自分の将来の希望は、自分でも測りかねています。死にたいとも思いますが、仮に就職する必要がなく、何でも好きなことだけしていれば良いとなれば、死にたいと思うことはなくなるのかもしれませんが。しかし同時に、もし死ねば、「好きなことだけしていきたい」と思うこともなくなるのだろうし、それで問題があるだろうかとも思います。自分でも気づかぬうちに、一切の苦痛なく眠るように死ぬことがもしできるなら、少なくとも私にとってはそれが最善なのかもしれません。不安なことは、上記の希望はおよそ現実的ではないために、自殺できないのなら今後なんらかの形で生きていく手段を見つける必要がある、おそらくは就職の必要があるということだと思います。就職活動を進められるかどうか、就職できたとして仕事をこなすことができるかどうか、それを続けられるかどうかなど、全く自信がありません。</p>
<p>家事が忙しく体力もないため仕事を見つけられるかどうか、見つかった後も続けられるかどうか、心配している。仕事ができなかった場合、将来の生活にかかるお金の不安がある。</p>
<p>就職し、定着できるかどうか。 現在は病院に定期的に通院している訳ではないのだが、今後通院が必要になった場合にどうするのか？</p>
<p>コミュ力不足、能力不足故、仕事があるかあったとしても続けられるかという不安。</p>
<p>本格的に仕事を探していきたい。バイトでいいからやってみたい。でも希望した仕事につけるかどうか不安だし、合格できるかも不安。</p>
<p>30才を過ぎたけど正社員になれるのかわかるか</p>
<p>一人暮らしをして猫と暮らしたい、安定して働き続けられるかが不安</p>
<p>働いていけるかどうか、生活していけるかどうか、という不安。</p>
<p>もし結婚しない選択に至った場合は定年まで健康な身体で働き続けることができるのか。ブラック企業に転職して身体や精神を壊さないか。</p>
<p>アルバイトから正社員に登用できる職種があること、まずそのアルバイトに通える様な力を手に入れられるよう目指していきたい。 ちゃんと自宅と職場を遅刻せずに行き来して、きっちり働けるかが不安。</p>
<p>様々な事がありますが、一番は職に就けるかどうかについて不安を感じています。また、その延長線で金銭面で都合が出ると思いますのでそちらの方も不安です。</p>
<p>不安:社会に出ると環境が大きく変わり緊張しないか不安です。就職活動また社会に出てもいろいろなことが勉強できる。よこはまサポートステーションのプログラムに参加できなくなる不安はものすごく大きく無念です。(プログラムに参加できないときはがっかりし、やる気がなくなります)</p>
<p>・他の人と同じように働けるようになるか、長続きできる仕事に就くことができるか不安。 ・家族にも頼られる、少しでも支えになれるようになりたい。。。希望</p>
<p>年齢を重ねる毎に新しい事を始める事に不安を強く感じるようになった。また腰痛持ちで自分の身体と相談して仕事を探さないといけなく、仕事が見つかるか不安がある。</p>
<p>前の会社が自分にとってしがらみでもあったので、新しい道が開ける希望がある一方、仕事が見つかるか、自分に合った仕事ができるか不安はあります。</p>
<p>現在は復調してしまい希望や不安はあまり抱いていません。 現実の課題として自分の体質を理解し体調をコントロールしながら就労し、関係者に理解を促し、継続するかといったところです。</p>
<p>まともに生活していくことができないような低賃金で働かなければならないこと。 生きていきたいと思えないこと。安全に死ぬ方法がないこと。希望が全くないこと。</p>
<p>ちゃんと働いて自立できるかどうか</p>
<p>お金の管理や、お金の使い方</p>
<p>就職先が見つかるのか、また、長く勤めていけるかが不安です。 いつか、自分に合った仕事を見つけ、プライベートも充実できるような自分らしい人生を歩んでいけることを信じています。</p>
<p>仕事があるのか、ないのか</p>
<p>本当に自分が就労出来るのか、どんな仕事出来るのかが今一番将来に対して不安に感じている事です</p>
<p>●将来の希望は、精神疾患を持たない人とも同じフィールドに立って協力したり切磋琢磨して目的達成やスキルアップを実現させて行く事 ●将来の不安は、自分の病気や過去の経歴から、性格や能力を見限られてしまう事。</p>
<p>老後と貯金。</p>
<p>先行きが見えない状況を漠然と生きていることに不安を抱いている。</p>
<p>バイト先が決まりそこで体力、精神面に無理なく、日常生活を崩さずに仕事をこなして行けるのかが不安です。</p>
<p>安定した収入が得られるか、一人でも生きていけるか</p>

今の政党がLGBTをうつ病、精神障害と同じだと言い切ってパンフレットも配ってカウンセリング行って治せと言ったところ。LGBTも精神障害も治さなきゃならないものだとか心の底から思ってる集団が政権取ってるのが怖い
これからどうやって生きて行けばいいのか、ある程度暮らしていけるお金を稼ぐことができるのか、長いブランク期間があるので、社会にどうそれが受け止められるのか、とても不安です。
とにかく就職への焦り。自分は働きたい気持ちではあるが、どうしたらよいか分からない。話をしている中や自分で気持ちをリセットしていく中で、少しでも目標を立てる事で、お金をこう使おうという、自分の中で働くメリットがある。
自分が続けていける仕事があるのだろうか。
新卒、20代が大きなアドバンテージを持つ就職活動の中で30代になってしまった無職の自分が戦っていけるかどうかの不安
希望は家のすぐ下のスーパーで9割方努めようと考えていること 不安はその際に知り合い・友人が買い物に来たり、職場内での人間関係が構築できるのか
質問4. 3で答えたことについて、「もっとこんなサポートがあったらいいのに」と思うことがあれば教えてください。
キャリアデザイン、キャリアアップ、メンタルヘルス、仕事とプライベートの両立のさせかた インターンシップなども行ってみたい あと発達障害や身体障害がある人とも仕事やプライベートについて話してみたい。
ないです。私にとってサポートステーションには十分なぐらい尽くしてもらっていると感じています。私のような悩みを抱えた方達と相談員さんが一対一でしっかり会話をし、いつも予約がいっぱいなくらい忙しいはずなのに、ちゃんと話した内容を覚えて下さっています。もうこれだけで心が救われるのに、それだけではなく自分のメンタルをケアできるような講座があったり、勉強を学び直せる機会を設けて下さったりと感謝しかありません。
行き始めたばかりなので特にない。
自分が間違っているかもしれないとか何もわからないどうしていいかわからないという状態などにつよい不安を感じてしまうので、社会人としてのマナーや、働き始める時に知っていた方がいいこと、実際に働き始めるときに注意した方がいいことなど知っておいて役に立つことなどを知れるプログラムがあると嬉しいです。
家の外に出る一歩から、求人応募・採用後のサポートまでのワンストップでの対応、ならびに今回のアンケートのようなものの告知、個々のすりあわせの強化をお願いしたい。
他の機関との連携
グループワークみたいなので、匿名とかで、自分が今までしてきた仕事内容とか辞めた理由とか良かったことを話し合っ、自分の本来のやりたいことを見つけるようなディスカッション。
・労働組合や労働基準監督署、労働問題に詳しい弁護士とのコネクション ・無能なハローワークとの交渉、求人サイトからのホワイトな求人の選別 ・ひきこもり、いじめ、不登校、個別支援級からの進路選択と脱出
職場の上司や先輩に自分の不安や精神的な疾患などを相談しやすくするためのサポート
自分の体力や使える時間に合わせて、少しずつ働き始められると良いと思う。例えば週1回短時間から初めて、慣れたら少しずつ時間を増やすなど。
オンラインでできる交流の場。(理想は、少し先を行っている人に話を聞ける環境)
就職後の新入社員へのサポート、相談する場所等
もっと宣伝してほしい。
社会の不安感や自分の人生観を色々な人々が共有できる場所。それが悩んでいる人や不安感を本人が解決していく方法だと思っからそれをほかの人が良く改善していくアイデアになると考えています。
お金の使い方のサポート
色々な人と話し出来る場が沢山あれば良いと感じています。
精神障害は治さなきゃ駄目カウンセリング受けるとか言うのなら受けやすくしてほしい。保険適応してほしい。 発達障害は生まれつきで治るといっ普通の状態が今でカウンセリング受けて普通の人間のように生きるのが無理をしてる、普通の状態から離れていくことなのをわかってほしい。 発達障害は生まれつきなのだから何度も更新しないとイケない障害手帳が地味に「マトモな人間に今回もなれませんでしたね」と言われてるようで嫌だ。
もっと仕事内容をえらべるジョブトレになってほしい。種類が少ない。シゴトライアルも同じく種類が少ない。どんな仕事があるかもっと調べて欲しい。
サポステ利用者も採用する企業も、もっと政治を語るのがいいのでは。
リモートワークの推進
現状でも十分すぎるほどのサポートだと思います。
特になし。今話していることだけで、サポステで受けているサポートで充分です サポステ内にお店があって、ちょっと働けてお金が増えれば良い、実践もできると良い 他の職員がどうゆう助言をするかも聞けると良い
社会保障、税金、国民年金、確定申告、その他お金のことに関する知識不足とそこからくる不安や苦手意識を強く感じるの、パンフレットや講習などで勉強できる機会が欲しい
インターネット上に見られる紋切り型の就活情報を超えた、時世と実態に即した情報提供のサポート

<p>・先日、サポステの講座で氷河期世代を対象とした講座に参加しましたが、そこでは同世代の近い悩みを持つ方が多く、参考になりました。 自分からそのような人たちと話すのは難しく、探すこともできなかつたため、ありがたかったです。 ・本来は自分でそのような場を作れるようにならなければいけないと思うのですが、サポートしていただければ有難いです。</p>
<p>自分自身、長期の不登校やひきこもりを経験したわけでもなく、また、何かしらの精神疾患や発達障害等を患っているわけではありません。その手の人はなんだかんだ言って、長期にわたり家族や病院、学校と連携しているので、特例子会社等にちゃんと勤めているイメージがあります。しかし私たちのような”隠れた生きづらさを持っている人”に対して、仕事を紹介するまでの一貫したサポートプログラム等があるといいかなと思います。</p>
<p>●精神疾患を持つ人と企業の色々な立場の労働者(採用者や管理職、平社員)との交流機会のセッティング ●企業が人材を確保する中で、無職者やフリーター、障害者に対して懸念している事の伝達サポート</p>
<p>サポステの利用年齢を過ぎたあと相談できる場所がほしい。</p>
<p>担当の人を月ごとぐらいで変更して行って、人との会話を慣らしていく手段などは、いいのではないのでしょうか？ 上記4に対する思うことを、サポートで補えるとは思えないので。</p>
<p>心療内科、カウンセリングも並行して相談しているため、相談先がサポステのみになってしまう環境づくりが重要かもしれないと思う。</p>
<p>自分の好きなことを仕事にできるような 非現実的なことを現実的な事にできるように 一人一人の個性を活かせるようなサポート？そのようなお仕事をされている方々と一緒にやってみるなど？ですかね？ 自分は、今のサポステの先生とお話をしているととても満足しています！</p>
<p>就職活動において、求人斡旋やグループワークなどあれば良いなと思いました。</p>
<p>・サポステは利用者が多くて、2週間毎にしか予約が取れないこと。もっと気軽に相談したい。 ・サポステ内。もしくはSTビルの中。近隣のビルでアルバイトを1日してみるプログラムがあったらよさそう。 ・サポステの人があえて客のふりをして電話対応をする一幕があったら面白そう。 ・サポステは例えば、2年ひきこもりをしている人を1年かけて社会復帰するような長期的なサポートを行っている印象を持つ。ゆっくりと社会に慣らしていく方向性なので、それと並行して、引きこもりの内にやっておきたいこと、やりたいことをカウンセラーが自然に聞き出してやり残したことも同時に行えるようにフォローしてあげてくれたらいいと思う。</p>
<p>直接的に就職を支援する期間の紹介や橋渡し</p>
<p>以前仕事体験をしたが、腰痛に対して理解がなく、体験で体調的に辛い思いをした。気持ちがあっても体調的に出来ない事があるのを理解してくれる職場が増えてほしい。</p>
<p>・職業訓練 ・仕事の紹介</p>
<p>外出のサポート</p>
<p>あまり考えたことはないですね。1分くらい考えましたがないです。</p>
<p>・役所の手続き・もっと人間関係を学べる？セミナー・体調管理ができるようにしたい。・普通の生活から時間管理できるようにしたい。お金の管理。</p>
<p>もっと頻繁に相談に行きたい(週に1度くらい) どんな仕事があるか、合うか調べたり試す機会が増えて欲しい。</p>
<p>相談員の方は仕事上、傾聴が基本だと思いますが、僕としては聴くだけではなく、その相談員自身の意見が聞きたいと思っています。 寄り添って同情してくれるのもありがたいのですが、現実的な意見を直接聞いてみたいです。 僕は一般社会から見たら、どう考えても外れている人間なので、そんな自分でも少しでも社会に溶け込めるようなアドバイスを聞きたいです。</p>
<p>40代の氷河期世代でも利用させていただくことができるようになり、大変幸運だと思っております。しかし、私はあと数年で50才を迎えます。”若者”ではないのかもしれませんが、数年経っても何らかの形で氷河期世代をサポートしていただけることを願ってやみません。</p>
<p>発達障害の人のための、就労や自立支援の取り組み、セミナー、プログラム、情報提供の場(未診断でも利用できる)大人の職場体験があったらいいと思う。</p>
<p>現状はとても満足しています。本当に助かっています。</p>
<p>精神障害のある人に対しての就労支援がもう少し増えたらいいなと思っています</p>
<p>外部機関との連携、提案(求人や医療、福祉など)</p>
<p>上記4については特にありません。 ただ、計画相談の受け入れは再開していただきたいかも…(クローズで同じ障がい者支援職に就く身としては)</p>
<p>人生相談の会合</p>
<p>就労の為の準備だけでなく、自分で道を選択し、考えるためのサポートがあるといいと思います。</p>

<p>質問5. 社会に対して「もっとこうなってほしい」とあなたが思っていることがあれば教えてください。</p> <p>①精神障がい当事者でも支援職に就きやすくしてほしい。精神障がい者であるというだけで支援が出来ない訳ではないと思うのです。(もちろんセルフコントロール出来なければいけません)</p> <p>②障がい者雇用求人、給与額を上げて欲しい。→出来ないのであれば、障害年金受給要件を緩和してください。</p> <p>③障がい者であることを堂々と開示できる世の中になって欲しい。(特に精神障がい。未だに偏見や差別はありますね)</p> <p>④障がいについて学び・知る場を増やして欲しい。(義務教育の中で取り扱っても良いと思います)</p> <p>⑤サポステの支援員の方々の待遇をより良くして欲しい。(こんなにお世話になっているので…)</p>
<p>お茶だしと言った性別を問われる求人、障がい者に限定された求人、固定残業費をもって最低賃金相当など、肌に合うだろうというもので応募できない状況を強制力を持ってなくしてもらいたい。</p>
<p>がんばります。</p>
<p>新卒でうまくいかなかったとき、「働きたい」と思っても未経験の状態の仕事探しはとても不安で、結局フリーターのまま若い頃過ぎてしまった。サポステのようなところが若い頃もっとあればよかったのと思う。出張所でもいいのもっとあちこちにできればいいなと思います。</p>
<p>得意不得意を無視して(あるいはそれをきちんと精査する機会も得られず)、とにかく高校・大学を出たら正社員として就職しなければならない、といった重圧感が減る未来が早く到来してほしい。自分のように「辞めたら次がない」と思い込んで病んでしまう人が、少しでも減ると思うので。</p>
<p>障害者やグレーゾーンの人の考え方や、接し方などのセミナーをやって欲しい</p>
<p>過剰に平等を叫ばないでほしい。当事者でも「そこまで求めていない」という気持ちになることがある。</p>
<p>賃金が上がってほしい。新卒でなくても就職できるチャンスが増えてほしい。</p>
<p>色々と余裕がなく、疲れ果てています。休みを制度として作って欲しいです。ゴールのない綱渡りをし続けなくては行かず、失敗したら本人のせいになってしまい辛いです。あらゆることにもっと余裕があればと思います。</p>
<p>もっといろんな働き方などが一般的になってほしい</p>
<p>寛容さと多様性を持つこと</p>
<p>場面緘黙症などの認知度の低い病気に対する理解が増えたらいいなと思っています</p>
<p>今の社会は、「とても生きづらい」のこの言葉しか出てきません。このような事を考えてる人は、少なく無いと思っています。</p> <p>その様な人達を助けてあげられる様な社会になってくれたらなと思っています。</p>
<p>年齢・性別・その他どんな立場の人でも求めさえすれば能力に見合う仕事が必要あって、誰にでも働く場所が見つかる社会。</p> <p>あとは理想論ですが…自分とは異なる立場の人を理解しようとする(のは無理でもせめて否定しない)人が増えてほしい、そんな心の余裕が持てる社会になったらいいのになと思います。</p>
<p>皆が皆物事を直ぐ(3か月程度)でできるというのを当たり前にとらえないでほしい。いろんな性格や性質の人が理解し合える環境であってほしい。積極的に(?)自分の意見が言える環境づくりになって欲しい。長い目で見てもらいたい。</p> <p>一度不登校やひきこもりになると、自分だけの力で社会復帰するのは難しいと感じます。</p> <p>年齢を重ねるにつれて仕事も見つけづらくなるので、もっと気軽に社会復帰ができるようになればうれしいです。</p>
<p>多様性を受け入れてくれる社会。</p>
<p>今後も交流の場の多様性が広がればと思う。</p> <p>なぜなら、ニート、フリーター、障害、孤独、そんな人に寄り添って話を整理してもらえ、第三者に話したり交流すると刺激を感じるので、支えになっていて、そのサポステをやってくださってるのが国なのがとてもありがたいためです。</p>
<p>僕は人と比較して劣等感を抱いてしまいやすいです。</p> <p>他人からルールを無視して邪魔されることにストレスを抱えることも多いです。</p> <p>僕以外にもそういった劣等感や悩みを抱えている人が大勢いると思うので、そういった自己肯定感が低い人や、劣等感や悩みや不安を抱えている人の意見を集め、解決した人はどう解決したのかなどのデータや、その解決した人と悩んでいる人との交流ができるようなアプリができ、世の中に広まればいいなと思っています。</p> <p>もしくは善行積んだらそれをスコア化して、社会の信用に反映されるような仕組みができてほしいです。</p>
<p>しっかり休みが取れる、希望したらすぐとれるようになって欲しい。</p> <p>働くことで悩みを抱えてないか確認し合ったり直ぐ職場などで相談できるようになって欲しい。</p>
<p>いじめのない世の中</p>
<p>自分に対してでもありますが、冷静で誠実であってほしいと思います。</p> <p>あとは病気療養や職業訓練が当たり前でできるセーフティネットの充実ぐらいですかね。</p>
<p>いろいろな体調の人、性格、能力のひとがいるから、一人ひとりが理解し合ったりできたらすごくいいですね。</p>
<p>上記の事もそうだし、一度失敗した人間に対して日本社会は厳しいと思っている。自分自身も自分の状況に負い目を感じているし、リスタートしやすい社会、一度失敗しても負い目を感じづらい、何度でも挑戦しやすい社会になれるといいと思う。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働(常態化している残業)は異常だと感じます。 ・終身雇用時代ではないのに、新卒一括採用(それも卒業が決まる前)にこだわる日本社会はおかしいと思います。 ・面接で感じたことですが、男女差別というか、「古い昭和の価値観」を押し付ける面接官が多く、不快でした。男だからたくさん稼いで、家庭をもってという押し付けを感じますが、僕の人生を勝手に決めないでほしいです。 ・せっかく資格を取っても、「経験」がないと採用してくれず、無意味に感じました。 ・求人票と面接で、言うことが全然違う企業がとでも多く、ひどいなと感じました(半数以上がそうでした)。 ・個人的ネクタイがとでも苦しく、仕事の効率が良くなるとも思えないので、無くしてほしいです。 ・有給が使えない会社も異常だと思います。企業側が労働基準を学んでいないのは論外だと思います。 ・無職もしくはワーキングプアか、長時間残業地獄の二択は厳しすぎるので、ワークシェアリングをきちんとして、一人ひとりの希望に合わせた働き方ができる社会になって欲しいです。 ・仕事とは離れますが、大人になると本当に友達作りの場が少なくなるのがしんどいです。
<p>多種多様な生き方に寛容な社会になって欲しい、少しでも。 自分はそういう人間を目指したいです。</p>
<p>「学習性無力感」の危険性を知ってほしい。</p>
<p>就労支援して下さる施設は神奈川県内にいくつかありますが、年齢制限や居住地、勤務地制限等が設けられていることが多い状況です。もしサポステに通わせていただくことができなくなったらと思うと不安で仕方ありません。年齢や居住地等に関係なく、中高年でも就労支援施設を利用することができる世の中になることを心より願っております。</p>
<p>就職して正社員になって週5日働く事が当たり前とされている世の中から、人それぞれ働けるキャパが違い、人それぞれの働き方がある事が当たり前になってほしい。</p>
<p>勤務形態の多様化が進むとありがたい</p>
<p>いろいろな事情を抱えている人に、もう少し簡単にこういう支援を受けられるようにしてほしい また、こういう支援を受けている人に対しての偏見というか風当たりがもう少し良くなってほしい。</p>
<p>自身だけかもしれませんが、小中高の学生生活の中であまり就労についての実体験がなかったように感じられました。話に聞いただけなのと、職業体験といってもほとんどが見学に近かったと思います。大学で友達に実家の仕事の手伝いが欲しいと言われやっと一度実際に短期バイトを経験したぐらいでした。 端的に言うと、いきなり就労し学生生活で何をしていたんだと言われてしまうような不安感がありました。 現在高校までの就労への経験機会がどれほどあるかは分かりませんが、私が経験した中ではもっと近く実際の仕事経験をできる機会があってもよかったです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者という肩書きは、一度貰ったとしても返却が可能という知識が広まって欲しい。(一度障害者になっても、障害者では無くなる事も出来るという事。) ● 健常者と同じように問題無く働いている人の中にも、公開していないだけで精神疾患の診断を受けて治療している人がいるという事が広まって欲しい。
<p>カウンセリングの保険適用</p>
<p>職や生活に困ったときに助けてくれる機関が、世代問わずにもっと充実してくれたいと思う。</p>
<p>ひきこもりやニートに対する偏見がなくなってほしい。怒鳴る人が少しでも減ってほしい。</p>
<p>コロナが収まって欲しい。</p>
<p>学校の勉強の中に、法律のこについて学べる機会が必修でないと、違反していることに気づかない人が増えていってしまうと思う。</p>
<p>フルタイムで働かない生き方が選べるような社会になって欲しい。 例えば自給自足やお金を使わない物の譲り合い、必要な服や道具を手作りするなど、現金収入が少なくても暮らせるよう社会にもそれを支える仕組みが出来て欲しい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・私は、現在事務職で希望しているのですがどうしても女性を採用している企業が多いです。職種関係なく男女働ける社会になると有難いです。(男女雇用機会均等法をもっと活用してほしいです。) ・社会に出ると健康診断が義務化になっていると思いますが、それを外し自分で気が向いたら受けられるようになると有難いです。(私は、健康診断と聞くだけで気持ちが悪くなりもうすぐ30代になりますが、一度も受けられずにいます。) ・ハローワークの担当者に「長年通う場所ではない」と言われましたが私は4年近くハローワークに通っていますがきまらずに現在も通っています。もっとすんなり内定を頂けるような社会になって欲しいです。
<p>新卒採用とか、年齢による制限などを見直してほしい。また、働く勇気が持てずに働けなくなっている人は周りにもいるということを知ることが出来れば安心感を持って良いと思うので、『サポステ』などの施設があることを学校や身近なところで知るきっかけが増えれば良いなと思います。</p>
<p>学歴で決めない。</p>
<p>最近のアンケートは「はい」「いいえ」だけでなく「たぶんそう」「どちらともいえない」「わからない」とたくさんの選択肢を用意してくれて答えやすくなっているのに、どうして選挙では国民の是非を問う～とか言ってるのに否を言わせてくれないんですか。選びたくない理由ばかりで選びたい政党なんて無いんです。一番マシな所に入れるなんて妥協で国を決めるんじゃないかってそこは嫌だって言いたいです。</p>
<p>週5日、9時～17時の労働形態以外の働き方が増えて欲しい。使用者(経営者)側の違法行為の罰則、監視の強化。</p>
<p>失敗したりルールを外れたりしても、肩身が狭いと思うこともなく、孤立もせず、もっと容易に誰かに相談できて、やり直しがきく社会だったらいいのと思う。</p>

社会に対して変化を求めることは、基本的にはありません。大勢の人間によって長い時間をかけて形成されていった社会というものが、個人の意志で変わることはないと思うからです。この社会はどこかおかしいと思ったなら、社会が変わってほしいと主張するより、「このおかしい社会と、自分にとっての正気を保ったままどう共存していくか」を模索していく方が健全なのではないかと、近頃は考えています。

社会に出ている人は余りに厳しいと感じています。失敗したら勿論批判されますが、失敗しなくても容姿などの外面的要因や能力や考え方などの内面的要因で批判されてしまう事が多いと感じるので、もっと多様な人が認められる社会になってほしいと思います。

仕事をする為の研修や、環境を整えてほしい。

未経験や未就業期間への寛容さ、さまざまな働き方への選択肢

一人一人の能力を活かせるようになって欲しい